

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	スポーツ健康福祉専攻
	主な担当科目	スポーツ経営学、スポーツボランティア論
	氏 名	鳥山 稔
	フリガナ	トリヤマ ミノル
	職 位	助教
	学 位 等	修士(スポーツ科学)

研究内容・社会業績等

『研究内容』

1. プロスポーツの観戦者を対象とした研究
2. スポーツ消費者の態度、行動に着目した研究
3. eスポーツに関する研究

研究とスポーツ現場の発展を常に考え、どちらか一方に偏るのではなく、両方に重点を置いた研究を日々行っています。

論文・書籍・資格等

(主な論文)

- 「北海道日本ハムファイターズの地域貢献活動ー地域貢献活動の継続の仕組みに着目してー」
『地域活性研究, vol16 73-79』
- 「プロスポーツ観戦者の再観戦意図に与える影響ー観戦者のサービス・プロダクト評価に着目してー」
『金沢星稜大学人間科学研究, 15(2),63-68』
- 「プロスポーツファンのチーム愛着と地域愛着の関係性ー北海道日本ハムファイターズのコアファンを対象にー」
『日本地域政策研究, 28, 56-65』
- 「プロスポーツチームによる地域愛着に地元メディアが与える影響ー2004年,北海道新聞は北海道日本ハムファイターズをどう伝えたのかー」
『金沢星稜大学人間科学研究, 15(1),75-82』
- 「新型コロナウイルスの影響に関する研究: 大学生の不安に着目して」
『至誠館大学研究紀要, 8,61-72』
- 「大学生の新型コロナウイルス感染症に対する関心についての予備的考察」
『スポーツ産業学研究, 31(2), 183-196』
- 「新型コロナウイルス感染症拡大による学生アスリートへの影響に対する分析: 競技実績の違いに着目して」
『生涯スポーツ学研究, 18(1), 31-44』

学生へのメッセージ

大学4年間はあっという間に過ぎ去ります。その間に、自分は何がやりたいのか、何に興味があるのかを見つけることができるのは積極的に行動をした人だけです。少しでも面白いなと思ったことは手を出してみて、行動しようかしないでおうか迷った時は勇気を出して一歩踏み出してみる。この積み重ねによって知見が広がり、有意義な大学生生活を送ることができると思います。

行動するかどうか決めるのは自分自身です。親でも友達でも指導者でもありません。大学卒業後に後悔をしないためにも、大学4年間を精一杯過ごしましょう。